

生活困窮者への炊き出し実施 反貧困ネット相談会に7人参加！



炊き出し会場のテント村

反貧困ネット「なんでも相談会」実行委員会（穂苅清一実行委員長）は9日、寒風が吹き荒れる中、沼田市十王公園内で「相談会と炊き出し」活動を行ない、相談会には7人、炊き出しには約15人が訪れ、ボランティア

スタッフは約30人が参加しました。今回の実行委員会は、利根沼田生活と健康を守る会、利根沼田社会保障推進協議会、利根保健生活協同組合が共催で行ないました。

当日訪問できなかった人や、あらたに相談したいことができた人は、いつでも下記へ連絡下さい。

*0278-20-1346又は、22-5050（利根保健生協内へ）

市議会情報 消費税増税で景気はどん底に

井之川博幸市議の一般質問報告

井之川博幸議員は、民主・自民・公明の3党談合で強行した「消費税増税」は、3%から5%に増税された時の経験から、実施されれば景気はどん底に落ち、市民のくらしや市内中小企業の営業はかつてなく厳しいことになる予想される。星野市長はどのように考えているのかと、質問しました。

市長は、「増税の前に駆け込み需要があり、景気は上向くが、増税後はその反動もあって、景気が悪くなる」と答えました。

井之川議員は、経済研究所などの指標や「現在でも消費税を納めるのに大変で、増税されれば廃業だ」などの業者の声も紹介し、今度の消費税増税はもってのほかだという姿勢をとるべきだと、市長に要求しました。（右中段につづく）

ふんぞりいなる・野中の良政を野中まひ

総選挙情報 今度は絶対共産党！

私が働いてる職場ではみんな言ってるよ。

井之川博幸市議は今回の衆院選で、保健生協幹部のSさんや沼田民商会長のTさんと職員や会員訪問を行なっていますが、いままでと比べて「悪政」への怒りが強く、今度こそ本当に政治を変えたい、共産党は頑張ってもらいたいという声が強まっています。

先日も民商会員のお宅を訪問したところ、ご主人と奥さんが応対に出て、奥さんが「私が勤めている職場では、今回はみんなが共産党だと言っている。ある人は絶対共産党に入れる、と言っていた。」などと話してくれました。期待の声が広がっています。井之川市議は、「最後まで全力で奮闘します。」と決意を語っています。読者のみなさんも、最後の最後まで、日本共産党と生方候補への支持を広げて下さい。よろしくお祈りします。

(仮称) 沼田ふるさと生産物直売センターは街中に設置

井之川議員は、首都圏はじめ他所から沼田市に来ていただく魅力をつくるために、観光・特産品物産販売の拠点として、(仮称) 沼田ふるさと生産物直売センターの設置を求めました。

市長は、「同様な施設を中心市街地区画整理事業で取り組んでいる『にぎわいの核』として設置したい」と答えました。井之川議員は、「沼田ふるさと館」で行なっていたインターネットでの受注販売なども取り入れる必要があると求めましたが、市長は、「これからのことだが、その方向で取り組んでいく」と答えました。



にぎわいの核予定地、左の建物は撤去される

肝炎患者救済請願は継続審査

民生福祉常任委員会に付託されていた「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願」は、11日の常任委員会で「継続審査」となりました。

2012年12月16日	No.638
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519	
井之川博幸議員活動地域版部内資料	